

【開催】2015年6月15日(月)・16日(火)

第23回

品質工学研究発表大会

全体最適への原点回帰

—マクロ視点での品質工学の実践—

大会会場/タワーホール船堀 (大会受付5階)
 懇親会/タワーホール船堀 瑞雲 (2階)
 主催/品質工学会
 協賛/(公社)計測自動制御学会 (公社)精密工学会 (一財)先端加工機械技術振興協会 中部品質管理協会 (一社)電気学会 (株)日刊工業新聞社 (一社)日本画像学会 (一社)日本機械学会 (一財)日本規格協会 (一社)日本合成樹脂技術協会 (公社)日本設計工学会 (一社)プラスチック成形加工工学会

品質工学会 会員募集中!

新規入会し、会員として大会参加

品質工学会では、品質工学に興味をお持ちの方、品質工学の色々な情報を知りたいという方々のために会員を募集しております。いま入会していただきますと、今年度の学会誌を入手できるとともに、研究発表大会に会員価格で参加できます。

会費 正会員/年額8,000円+入会金2,000円
 学生会員/年額3,000円+入会金1,000円

お申込みお問い合わせは下記事務局までお願いします。

●申込要領

申込方法

●申込書該当欄に必要事項を記入の上、FAX、郵便またはホームページからなるべく早くお申込み下さい。
 ●懇親会の参加は任意です。懇親会のみでの参加はできません。
 申込先: **品質工学会 事務局**
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-8
 和泉屋/パーキングビル2階
 TEL 03(6268)9355 FAX 03(6268)9350
 URL http://www.qes.gr.jp/



参加費

●正会員: 10,000円 ●学生会員: 3,000円
 ●非会員: 20,000円 ●学生非会員: 6,500円
 ●懇親会: 6,000円 (参加申込書参照)

支払方法

●銀行振込の場合は、下記の口座に振込をお願いします。
 みずほ銀行 青山支店 普通口座 1883944
 口座名義: 品質工学会 (ヒンシツコウガクカイ)
 ●銀行振込の場合は、個人名で請求書番号を記入の上、お振込下さい。
 ●恐れ入りますが、振込手数料は貴殿でご負担下さい。
 ●現金書留の場合は、申込書と参加費を同封の上、お送り下さい。
 ●送金額は申込書を参照して下さい。
 ●入金後、当日欠席の場合でも返金はいたしません。後日、申込者本人に論文をお送りいたします。

QES2015 第23回品質工学研究発表大会 参加申込書

本ページをコピーし、1人1枚に記入の上、FAXでご送付願います。

参加券、請求書の送付先は参加者本人に限らせていただきます。

事前登録およびキャンセルは6月8日(月)まで受け付けます。以後参加希望者は直接会場にお越し下さい。

2015年 月 日

●会員は以下の欄にご記入下さい。

(フリガナ) 氏名	殿	会員No.					
-----------	---	-------	--	--	--	--	--

●新規入会・非会員は以下の欄にご記入下さい。

(フリガナ) 氏名	殿	該当するものに○	新規入会	/	非会員
自宅	住所	〒			
	TEL	()	FAX	()	
所	(フリガナ) 勤務先/学校				
属	部署/学部				
	住所	〒			
	TEL	()	FAX	()	
送付先	勤務先 / 自宅 (希望する方を○で囲んでください。)				

品質工学会 事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-8
 和泉屋/パーキングビル2階
 TEL.03(6268)9355 FAX.03(6268)9350
 URL.http://www.qes.gr.jp/

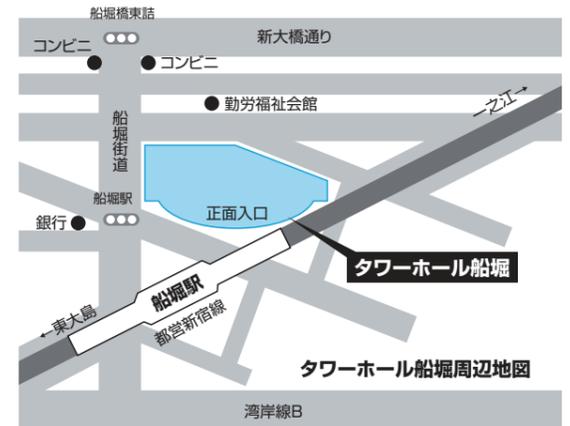
実行委員

実行委員長/谷本 勲
 幹事/衛藤 洋仁
 事業部会(50音順)/小池 昌義
 坂本 慎太郎
 高木 春記
 高松 喜久雄
 近岡 淳
 実行委員(50音順)/糸久 正人
 菊地 朝子
 菊地 教行
 木下 秀明
 小原 祥太
 高橋 悠
 出口 宏治
 中沢 和彦
 原田 和樹
 三山 文英
 森 智英
 森田 悦久
 八木 仁美
 山戸田 武史
 地域委員(50音順)/桑原 修
 高濱 正幸
 中尾 誠仁
 向出 保仁
 事務局/中山 みち子
 金野 友香里

アルプス電気(株)
 いすゞ自動車(株)
 (独)産業技術総合研究所
 日本オクラロ(株)
 元・キヤノン(株)
 株式会社IHI
 (有)近岡技術経営研究所
 法政大学
 セイコーインスツル(株)
 富士ゼロックス(株)
 テルモ(株)
 (株)リコー
 ヤマハ発動機(株)
 キヤノンファインテック(株)
 富士ゼロックス(株)
 アルプス電気(株)
 法政大学
 古河電気工業(株)
 コニカミノルタ(株)
 理想科学工業(株)
 法政大学
 元・キヤノン(株)
 広島市工業技術センター
 三菱日立パワーシステムズ(株)
 株式会社ネオス
 (株)ノアロイ
 品質工学会
 品質工学会

会場略図

大会受付/タワーホール船堀 5階
 東京都江戸川区船堀4-1-1
 懇親会/タワーホール船堀 2階 瑞雲
 交通のご案内/都営新宿線 船堀駅 北口下車 徒歩1分



研究発表大会へのお誘い

大会実行委員長 谷本 勲

日経平均株価は15年ぶりに高値を更新し、昨年度より日本経済の回復はさらに顕著になってきております。しかし一方では、この回復には実感を伴わないとの議論も沢山されております。確かに日経平均はリーマンショック前まで回復しましたが、企業の売上、利益はまだまだ及びません。この因は世界的な経済環境の変化、大競争時代に対する危機感の欠如にあると思います。

デジタル化は技術価値の陳腐化を加速し、グローバル化は顧客価値の多様化を加速しています。この局面の打開には技術マネジメント面での改革が急務であります。これは「開発期間と開発コストの圧倒的な短縮と低減」に尽きると思います。品質工学は多くの提案をすることが可能です。

昨年の大会ではパネルディスカッションで「新しい品質工学の方向性」として第20回大会以来の総括を行い、大変有意義な議論ができました。これを受けて、今大会は時代の要求にあった技術マネジメントの技法を提供するために、全体最適の原点に戻り、技術マネジメントとしての体系化にチャレンジしていく大会にしたいと思います。前述のように時代の要請があり、また各社それぞれの要求もあるかと思えます。多くの皆さんの参加と活発な議論を期待致します。

今年度から会場が変わります。「きゅりあん」には大変お世話になり御礼申し上げます。「タワーホール船堀」も大変立派な会場です。皆様のご協力を得てスムーズな運営を目指して頑張りたいと思います。

★新規入会は大会参加費とは別に入会金・年会費の請求書・振込用紙を送付します。
 新規入会の大会参加費の欄には、年会費+大会参加費が記載されています。
 年会費: 正会員/10,000円 (=年額8,000円+入会金2,000円)、学生会員/4,000円 (=年額3,000円+入会金1,000)

●新規入会の方は以下の欄にご記入下さい。

会員の種類	(いずれかを○で囲んでください。)	正会員	/	学生会員 (年卒業予定)
E-mail				
専門分野				
推薦人 (学生会員に限る)	氏名		会員番号	

※請求書、振込用紙を送付しますので、期日までに振込をお願いします。
 ※参加券、請求書及び領収書の送付先は参加者本人に限らせていただきます。
 ※参加券は事前にお送りいたします。参加券がお手許に届かなかった場合は直接会場へお越し下さい。

第23回 品質工学研究発表大会

全体最適への原点回帰ーマクロ視点での品質工学の実践ー

6月15日(月) 壇上発表：大ホール（タワーホール船堀5階）

場所	No.	タイトル	発表者	所属
大ホール マクロ視点での 品質工学 10:30～12:10	1	機械組立工程全体作業の最適化	青木 規泰	㈱松浦機械製作所
	2	気象・海象情報を用いた赤潮発生判別	水野健一郎	広島県立総合技術研究所
	3	「売れる機械を予測する」マーケティングへのMTシステム適用を考える 第3報	天谷 浩一	㈱松浦機械製作所
		論説：「マクロ視点での品質工学」	吉澤 正孝	クオリティ・ディーブ・スマーツ有限責任事業組合
			田村希志臣	コニカミノルタ㈱
大ホール 開発・設計における 品質工学 13:15～14:55	4	エンジン燃焼における壁温分布の最適化 第2報	橘鷹 伴幸	トヨタ自動車㈱
	5	ハミガキ剤製品開発のための技術開発	秋元美由紀	エスケー石鹸㈱
	6	マガキの個体成長評価による養殖資材開発	高辻 英之	広島県立総合技術研究所
		論説：「開発・設計における品質工学」	沢田 龍作	サワダ技研㈱
			曾我 光英	富士ゼロックス㈱
大ホール 15:20～17:15	《来賓挨拶》 経済産業省 大臣官房審議官 星野 岳穂 / (一財)日本規格協会 理事長 摺斐 敏夫 《基調講演》 「日本産業の課題克服に向けて品質工学の果たすべき役割」 品質学会会長 齊藤 潔 《表彰式》 田口賞・(公財)精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞・ASI賞・貢献賞			

6月16日(火) 壇上発表：大ホール（タワーホール船堀5階）

場所	No.	タイトル	発表者	所属
大ホール 9:15～9:45	品質工学会総会			
大ホール 製造段階における 品質工学 10:00～11:40	43	加工後のワーク変形の抑制	中原 寛海	マツダ㈱
	44	めねじ加工条件の最適化	久保 祐貴	マツダ㈱
	45	工場空調の最適化	眞山 靖浩	リョービ㈱
		論説：製造段階における品質工学	常田 聡	日精樹脂工業㈱
			天谷 浩一	㈱松浦機械製作所
大ホール 評価における 品質工学 12:45～14:25	46	輝度値評価による染色外観品質の向上	城岸 宏行	YKK㈱
	47	バーチャル設計を用いたシャッタ機構の設計	奥澤 翔	コニカミノルタ㈱
	48	日本企業の業績研究における単位空間の検討と企業の項目診断 第二報	吉原 均	キヤノン㈱
		論説：評価における品質工学	安藤 欣隆	エスケー石鹸㈱
			生駒 亮久	KYB㈱
大ホール 14:40～16:50	《受賞記念講演》 田口賞・(公財)精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞・ASI賞 《表彰式》 (公財)精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞・品質工学研究発表大会実行委員長賞・品質学会会長賞			

6月15日(月) ポスター発表（OS・自由討論）展示時間10:30～15:00：展示ホール(タワーホール船堀 1階)

A会場 開発(機能性評価、 MTシステム) 10:30～12:15	7	MTシステムを用いたX線CT画像からの疾患定量化の検討(2)	植 英規	福島工業高等専門学校
	8	MTシステムの利用によるソフトウェア開発段階での操作性評価	前田 敏男	㈱松浦機械製作所
	9	繊維強化樹脂の色出しの安定化	中村 清香	YKK㈱
	10	トルクセンサにおけるひずみゲージの接着に対する機能性評価	趙 飛	㈱安川電機
A会場 製造(パラメータ 設計) 13:15～15:00	11	組付調整基準の明確化	岡山 一洋	マツダ㈱
	12	私服への毛髪付着数低減の研究	金築 利旺	㈱あじかん
	13	蛍光X線定量分析装置の最適測定条件の設定	志田稔太郎	㈱ノトアロイ
	14	LEDプリンター用半導体素子の新規ピックアップ技術の向上	西崎 早織	富士ゼロックス㈱
B会場 設計(パラメータ 設計) 10:30～12:15	15	高圧ミキシングヘッドの混合解析による最適化	西野 精一	阿南工業高等専門学校
	16	パラメータ設計による樹脂ギアユニットの設計条件最適化	成田 秀夫	㈱安川電機
	17	長さ測定装置の測定精度向上	中村 桃子	YKK㈱
	18	ロケットエンジン用タービンのロバスト設計手法の検討	増子 仁美	㈱IHI
B会場 開発(パラメータ 設計) 1 13:15～15:00	19	CAEによるマシニングセンタ構造体の最適化設計 第2報	木村 文武	㈱松浦機械製作所
	20	比例ソレノイドに対する磁場解析を活用した吸引力特性の最適設計	弘中 剛史	KYB㈱
	21	エキシマレーザー耐久性向上のためのパラメータ設計	浅山 武志	ギガフォトン㈱
	22	レーザーキャッチャ装置における最適化設計	武澤 泰則	㈱松浦機械製作所
C会場 評価(パラメータ 設計) 10:30～12:15	23	2軸走査MEMSミラーのロバスト設計～2信号システムの評価方法の研究～	中垣 保孝	コニカミノルタ㈱
	24	イオン流検出装置のロバスト最適化検討	沢田 龍作	トヨタ自動車㈱
	25	ピッカース硬さ試験における標準くぼみの設定の研究	井上 克彦	㈱アサヒ技研
	26	多変量時系列を用いた経済変数の予測 第5報 株価予測	永倉 克彦	㈱ヤンマービジネスサービス
C会場 教育・普及 13:15～15:00	27	クリープ加工における加工形状変化に基づいた電力評価方法の検討	横山 雄太	三栄精工㈱
	28	ボルト締結状態の打音診断	水谷淳之介	富山高等専門学校
	29	『田口玄一論説集』による品質工学の学び直し	佐々木市郎	アルプス電気㈱
	30	因果系統図・機能系統図による基本機能分析	西巻 寛之	東京計器㈱
D会場 手法(数理) 10:30～12:15	31	コマ実験セットを使った品質工学の普及	中原 健司	タカノ㈱
	32	裾野を広げる事による品質工学活性化検討	畠山 鎮	セイコーエプソン㈱
	33	T法を効果的にアピールする普及活動 ～八王子駅周辺賃貸価格の予測クイズ～	澁谷 哲功	オリンパス㈱
	34	各種事例にみるゼロ点比例・基準点比例・1次式解析の問題点	上杉 伸二	富士技術経営研究所
D会場 手法(直交表) 13:15～15:00	35	線形代数をベースとした分散分析の新しい考え方	鶴飼 義之	ホシザキ電機㈱
	36	HDDスライダ最適化における直交表係数とノイズ回帰係数を使ったロバスト設計	森 輝雄	静岡品質工学研究会
	37	はかりのロバスト設計における再現性向上策の検証	田中 誠	静岡品質工学研究会
	38	多水準系L ₁₂ 近直交表の社内展開と適用事例レーザートリミング条件の最適化	貞松 伊鶴	静岡品質工学研究会
	39	近直交表L ₁₂ を使った金属溶融成形機に対するCAEによるロバスト設計	森 輝雄	静岡品質工学研究会
	40	近直交表L ₁₂ の分散分析の可能性の検討	鶴飼 義之	ホシザキ電機㈱
	41	近直交表L ₁₂ を用いた電機サウンダー回転刃形状の最適化設計	宋 相載	広島工業大学
	42	ソルバー解法で求める近直交表L ₁₂ の水準平均の検証	足羽 晋也	静岡品質工学研究会

6月16日(火) ポスター発表（OS・自由討論）展示時間10:00～14:30：展示ホール(タワーホール船堀 1階)

A会場 設計(パラメータ 設計、その他) 10:00～11:45	49	パンチくずの除電機能パラメータ設計	杉江 直紀	リコーテクノロジーズ㈱
	50	レーザー加工最適化の基礎研究	五味 伸之	福井工業高等専門学校
	51	精密部品用台車におけるキャスター選定への品質工学適用の試み	濱田 剛俊	㈱IHI
	52	複写機における画質の機能性評価	高橋 剛	キヤノンファインテック㈱
A会場 評価(その他) 12:45～14:30	53	SN比を利用した進化論的圧縮バネ最適設計方法の提案	鈴木 真人	個人参加
	54	MT法を用いたサイン認識の基礎研究	五味 伸之	富山高専専門学校
	55	小便器用センサー評価におけるノイズ調合の検討	太田 祐史	TOTO㈱
	56	評価者の多面的な能力を反映させる感性評価手法	大浪 雅博	九州工業大学
B会場 製造(パラメータ 設計、その他) 10:00～11:45	57	押込変形プロセス試験と引張変形プロセス試験の関連性の検討 (4)	中井 功	㈱アサヒ技研
	58	イメージ評価を活用した機能提案手法の研究	留目 剛	東芝テック画像情報システム㈱
	59	品質工学を用いたロー付けアルミハニカムパネルの歪低減	松竹 俊哉	㈱エヌティーシー
	60	電力評価による改質水を用いた水溶性切削油の加工性評価 第2報	清水 哲也	㈱松浦機械製作所
B会場 検査(パラメータ 設計、その他) 12:45～14:30	61	工程管理におけるポリマー重合度調整の自動化	榊原 秀紀	東亞合成㈱
	62	低速回転速度の電力データによる合否判定の研究	久保田宗誉	㈱松浦機械製作所
	63	リユース LED Print Head 再生工程の確立	村松 康裕	富士ゼロックスマニファクチャリング㈱
	64	蛍光X線分析装置による有害元素測定の試料前処理と装置測定条件の最適化	細川 俊輔	YKK㈱
C会場 開発(パラメータ 設計) 2 10:00～11:45	65	画像基板検査装置(AOI)の精度評価による誤判定率の改善	三森 智之	アルプス電気㈱
	66	車載用スイッチにおけるMTシステムを用いた不良流出防止及び異常診断の研究	上杉 一夫	アルプス電気㈱
	67	基幹設備の点検・保全方式の検討	長尾 友	㈱IHI
	68	オンライン品質工学を用いた最適設備点検・保全周期の検討	麻生 泰弘	富士通㈱
C会場 開発(パラメータ 設計) 3 12:45～14:30	69	ホットメルト接着剤溶融装置の電力による吐出量の評価	渡邊 直樹	YKK㈱
	70	超音波センサを用いた重送検知の最適化	長谷部哲也	ニスカ㈱
	71	超硬合金の直彫り加工条件の最適化	林 憲一	㈱ノトアロイ
	72	プラズマ切断機用電極の冷却水路のパラメータ設計	齋尾 克男	㈱小松製作所
D会場 社会(芸術・ 文化・家庭) 10:00～11:45	73	機能性評価によるブレードクリーニングシステムの負荷低減	高橋 義典	富士ゼロックス㈱
	74	特性値シミュレーションを活用したクラックシャフトの最適設計	三宅 慧	トヨタ自動車㈱
	75	難燃化木材の塗装による白華防止の検討	石井 利典	広島県立総合技術研究所
	76	低画素赤外線アレキセンサを用いた電動義手の安全動作に関する研究	蓬生 卓也	芝浦工業大学大学院
D会場 手法(MTシステ ム) 12:45～14:30	77	キッチン向け節水シャワー水栓のパラメータ設計	鈴木 隆政	TOTO㈱
	78	直交表による国宝稲葉天目茶碗の星紋の再現	杉山 圭	㈱ジーシー
	79	尺八演奏上達の重要因子の探索研究 3	山口 信次	静岡品質工学研究会
	80	脳波を用いたメロディの判別	林 秀行	品質工学フォーラム埼玉
	81	直交表実験によるおいしいパンの最適化製法研究	田辺総一郎	㈱ユニバンス
	82	ロバスト設計のSN比でL ₁₈ 最良値以下となる最適条件の原因探索解析	森 輝雄	静岡品質工学研究会
	83	ロバスト設計でL ₁₈ 最良値以下となる最適条件事例のSN比分散解析	足羽 晋也	静岡品質工学研究会
	84	官報解析：地域県別の離婚データのMT解析	山口 信次	静岡品質工学研究会
	85	ビッグデータポルトガル葡萄酒の評価データベースへの逐次多元解析の適用	田辺総一郎	㈱ユニバンス

☆OS(オーガナイズドセッション)：各ポスターセッションにおいて、発表者より研究概要を説明します。(1テーマ15分：発表10分、質疑5分)

☆自由討論：全OS終了後、発表者と参加者が自由に討論するものです。(30～45分)

☆懇親会：6月15日(大会1日目) 17:30～19:30、タワーホール船堀 2階 瑞雲

議論の基となる発表概要については、4月末に学会HPにて公開します。

大会開催の最新情報を学会HP(<http://www.qes.gr.jp/>)で確認のうえ、ご来場ください。